

日本原子力学会 標準委員会 基盤応用・廃炉技術専門部会

第 80 回廃止措置分科会 (R3SC) 議事録

1. 日時 2022 年 12 月 2 日 (金) 13:00-15:00
2. 場所 : Web 会議 (Webex)
3. 出席者
出席者 : 岡本主査, 松原福主査, 田中幹事, 青井, 生駒, 石原, 工藤, 黒川, 小山, 佐藤, 湊 (仲田代理), 中村, 西村, 深田, 見上, 目黒, 平井
(欠席 : 田村, 山本) (敬称略)
4. 配布資料
R3SC-80-1 人事案件 (今回なし)
R3SC-80-2 日本原子力学会 標準委員会 基盤応用・廃炉技術専門部会
第 79 回廃止措置分科会 (R3SC) 議事録 (案)
R3SC-80-3-1 耐震安全に関する技術レポートの着手承認の提案書修正版について
R3SC-80-3-2 耐震安全に関する技術レポートの着手承認の提案書の意見対応について
R3SC-80-4-1 「発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準 : 20XX」公衆審査意見対応案について
R3SC-80-4-2 “発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準 : 20XX”
公衆審査 東大 糸井達哉 様ご意見への回答 (案 1)
R3SC-80-4-3 “発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準 : 20XX”
公衆審査のご意見を受けた標準への反映結果 (新旧対比表)
R3SC-80-4-4 「発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準 : 20XX」完本版
R3SC-80-5-1 “廃止措置対象施設特性調査指針 : 20XX (案)” の意見対応について
R3SC-80-5-2 “廃止措置対象施設特性調査指針 : 20XX (案)” の意見取り纏め表
R3SC-80-5-3 “廃止措置対象施設特性調査指針 : 20XX (案)” 修正前後比較表
R3SC-80-5-4 “廃止措置対象施設特性調査指針 : 20XX (案)” 修正版 (本文のみ)
R3SC-80-6-1 “廃止措置作業立案指針 : 20XX (案)” 完本版
5. 議事
 - (1) 出席者確認
開始時点で 17/22 名の出席により分科会成立していた。(2 名欠席うち 1 名は代理出席あり)
 - (2) 人事案件
なし。
 - (3) 前回議事録確認
第79回廃止措置分科会議事録が承認された。
 - (4) 【審議】耐震安全に関する技術レポート整備の着手承認について [R3SC-80-3-1~R3SC-80-3-2]
 - ① 資料R3SC-80-3-1~2に沿って、耐震安全に関する技術レポート整備の方針書 (着手承認用資料) のコメント反映案の説明があった。

- ② 以下の修正項目を確認し、コメント者から回答を了承する旨の発言があった。
 - ・作業会は設置せず分科会内審議とすることに伴い、作業会関連記載を削除した。
 - ・引き下げ→リスクに合わせて適正に設定 に表現を修正した。
 - ・技術レポート整備の目的は、コメントの文案を採用した。
- ③ 廃止措置時のリスクは放射線被ばくのみではないが、この技術レポートでは被ばくリスクを対象として記載する旨を示すためタイトルに“放射線被ばくリスク”を明記した。
- ④ その他のリスクについての検討は、耐震安全の考え方：2013の定期改定（2024に実施予定）において行う。
- ⑤ 追加コメントはなく、2023年2月9日の専門部会報告への移行が決議された。

(5) 【審議】廃止措置安全評価基準 [R3SC-80-4-1~R3SC-80-4-4]

- ① 資料R3SC-80-4-1~R3SC-80-4-4に沿って、廃止措置安全評価基準のパブコメ対応案の説明を行った。
- ② 東大 糸井先生コメント1の回答案について、附属書H.1 a) に記載されている起因事象以外もありうるので、これらに限定するのではなく、1例としての位置づけに表現に修正した方がよい。よって、“図H.1の手順[1]に従って選定する。その手順を次に示す。” → “図H.1の手順[1]に従って選定する。その手順の例を次に示す。” に修正する。
- ③ 東大 糸井先生コメント2の回答案について、“ドライサイト設計の例を示す” だけでは、原子力学会が了承しない可能性があり、“地震・津波”の影響を受ける可能性がある場合は適切に評価する “との記載が必要である。
- ④ “津波・洪水の影響を受けない地点に設置するため” という文章が残った状態では原子力学会として了承されない可能性が高い。
- ⑤ これを消す場合にはフローを含む抜本的な修正が必要になる。
- ⑥ 再投票もあり得るとして修正案を再検討し、次回の分科会で再審議する。
- ⑦ 東大 糸井先生コメント3の回答案については、回答案のままでよい。
- ⑧ 今回は決議を保留し、次回(2023/1/24)の分科会で再審議を行って決議にかけることとする。

(6) 【審議】廃止措置対象施設の特性調査指針 [R3SC-80-5-1]

- ① 特性調査指針(R3SC-80-5-1)について、意見募集のコメント反映案の説明があった。5名の分科会委員から122件のコメントがあった。主な項目は以下のとおり。
 - ・名称の整理（調査対象を特定する。）
 - ・4章と5章で重複記載があるとの指摘に対し、4章(項目)と5章(方針)に分けて記載した。
 - ・文章がわかりにくいとの指摘に対し、読み易くする工夫を行った。
 - ・放射化汚染については表面除染の効果がないので、原文のままとする。
 - ・本文がある程度固まった時点で附属書の修正を行う。
 - ・方針は方法ではないかとの指摘について、取るべき対応、進むべき方向を示しているので方法ではなく方針である。
- ② 調査の方法を学会で標準化する必要があるのか。
学会では基本方針を整理して指針として示すことを考えている。
- ③ 修正箇所が多数あるので、再度2週間の意見募集を行う。

(7) 廃止措置作業立案指針 [R3SC-80-6-1]

- ① 作業立案指針(R3SC-80-6-1)についての内容の説明があった。(分科会における

初回の説明)

- ② 廃止措置の作業をどのように立案していくかの方針を示す指針である。構成は次のとおり。
 - 4.1 解体計画の検討の検討
 - 4.2 敷地をどのように活用するかを検討
 - 5 設備維持管理の方針の検討
 - 6 具体的作業の立案の方法
 - 7 安全確保対策（放射線管理、一般労働安全）
- ③ 安全評価への入力のベースとなるものなので、しっかり内容をチェックしてほしい。
- ④ タイトル他に実用発電用原子炉施設を入れること
- ⑤ 費用評価指針は作成するのか。→ 整備予定であるが、まだ、未着手である。
- ⑥ 核燃料等の「等」を削除し、核燃料とする。（「等」があると廃棄物が含まれてしまう）

(8) 今後のスケジュール

次回(第81回) 廃止措置分科会は。2023年1月24日(火) 10:00~12:00

以上